

平成30年度学校現場における業務改善加速事業プロジェクト
委員会（第1回）の報告について

開催日時 平成30年8月29日（水） 午後2時～午後4時
場 所 岐阜県庁教育委員会室（11階）
出席者 外部有識者等による委員（9名）
議 事

1 審議事項

- (1) KGI（最終目標）とKPI（効果測定指標）について
 - 「教職員の働き方改革プラン2018」に基づいて定めたKGIとKPIについて意見交換を行った。
- (2) 総業務量の削減の在り方について
 - 業務の仕分と役割分担について意見交換を行った。

委員から出された主な意見

- 教員の業務の中で、事務的な業務を減らして、子どもと向き合う時間を増やすのではなく、総業務量を減らすことを目標にしていることが今年度のポイントである。この考え方を保護者や地域の方々とも共有していきたい。
- KPIに掲げる「明るい気持ちで元気に働くことができている」とは、勤務時間の縮減とともに、同僚性が発揮されることで感じられるものである。職員同士のつながりを大切にしていきたい。
- 教員が担うべき業務、学校以外が担うべき業務を明確に仕分できないのが実情である。学校と地域が補い合うためにも、地域の方々の意見を取り入れながら役割分担を進めていくとよい。
- 民間企業では、現場で働く職員が、改善、省力化できることを提案する仕組みができている。事前に行なった教職員アンケートでは、「職場では、誰でも自由に意見や考えを述べることができますか」の問いに対し、「できる」と回答する職員の割合が学校によって大きく異なった。職員が働き方を改善するためのアイデアを出し合える雰囲気づくりを大切にしていきたい。
- 学校や地域の特性によらず、どの学校においても業務改善が図られるモデル事業として展開し、その結果を全県的に普及すべきである。